

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	1	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
なかよし あつまれ		5	知・技	ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。
			思・判・表	観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。
			学び	数や形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
1. いくつか		8	知・技	10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。
			思・判・表	数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。
			学び	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2. なんばんめ		4	知・技	個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。
			思・判・表	集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。
			学び	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3. いま なんじ		1	知・技	日常生活の中で時刻をよむことができる。
			思・判・表	時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。
			学び	時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
4. いくつと いくつ		8	知・技	1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるることができる。
			思・判・表	数量の関係に着目し、ある数を合成分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。
			学び	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
5. ぜんぶで いくつ		10	知・技	加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
			学び	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
6. のこりは いくつ		8	知・技	減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
			学び	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
いったり きたり		1	知・技	・10までの数について、大小を比べたり差を求めたりすることができる。
7. どれだけ おおい		3	知・技	減法の意味(求差)を理解し、式に表して計算することができる。
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
			学び	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
さんすう なつやすみ		1	知・技	(知技)加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。
8. 10より 大きい かず		11	知・技	30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。
			思・判・表	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。
			学び	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
9. かずを せいりして		2	知・技	ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。
			思・判・表	データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。
			学び	数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

10. かたちあそび	10	知・技	ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。
		思・判・表	ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとって形の構成について考えたりしている。
		学び	身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
こうていで さんすう	1	知・技	(知技)加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。
11. 3つの かずの たしざん、ひきざん	4	知・技	3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
		学び	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
12. たしざん	9	知・技	1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
		学び	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
13. ひきざん	9	知・技	十何一1位数で繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実にできる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
		学び	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
どこに あるかな	1	知・技	上下、左右、前後などの言葉を用いて、2方向からのものの位置を表すことができる。
14. くらべかた	9	知・技	長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。
		思・判・表	身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。
		学び	身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
さんすうで ふゆじたく	1	知・技	(知技)20までの数の順序、系列を理解するとともに、繰り上がりのある加法及び繰り下がりのある減法の計算ができる。
15. 大きな かず	12	知・技	2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。
		思・判・表	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。
		学び	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
16. なんじなんぷん	4	知・技	日常生活の中で時刻をよむことができる。
		思・判・表	時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。
		学び	時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
おなじ かずずつに わけよう	1	知・技	(知技)おはじきを同じ数ずつに整理して分けたり、それを式に表したりすることができる。
		思・判・表	(思)1つの数を同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、多面的に捉えている。
17. どんな しきに なるかな	6	知・技	順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
		学び	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
18. かたちづくり	5	知・技	ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。
		思・判・表	ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとって形の構成について考えたりしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
1ねんの まとめ	7	知・技	(知技)第1学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	2	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
みんなで算数をはじめよう		2	知・技	問題解決の進め方を理解している。
			思・判・表	問題の条件に着目し、題意に合う式を筋道を立てて考えたり表現したりしている。
1. 表とグラフ	4		知・技	身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。
			思・判・表	データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。
			学び	データを整理することに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
2. たし算	10		知・技	2位数＋2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
			学び	加法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
3. ひき算	10		知・技	2位数－2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
			学び	減法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
4. 長さ	9		知・技	長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味と単位の間接関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。
			思・判・表	身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。
			学び	長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
5. 100より大きい数	11		知・技	3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解している。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算ができる。
			思・判・表	数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算のしかたを考えている。
			学び	数を表すことに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
たし算とひき算の図	2		知・技	加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。
			思・判・表	加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。
			知・技	2位数＋12位数＝百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりのない3位数＋12位数、百の位からの繰り下がりのない3位数－12位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、()の意味や用い方について理解している。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

6. たし算とひき算	9	思・判・表	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
		学び	加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
何人いるかな	1	思・判・表	順序数の加法の場面を図などを用いて表し、計算のしかたを考えている。
7時こくと時間	5	知・技	時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。
		思・判・表	時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。
		学び	時刻と時間を表すことに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
		思・判・表	筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考えている。
8. 水のかさ	8	知・技	かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味と単位の間接関係を理解し、かさについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。
		思・判・表	身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。
		学び	かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
		知・技	ものさしを用いて直線を作図することができる。
9. 三角形と四角形	10	知・技	三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。
		思・判・表	三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えるとともに、身のまわりのものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。
		学び	三角形や四角形に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
		知・技	身のまわりのものの形を図形として捉え、三角形や四角形を組み合わせて構成することができる。
10. かけ算	21	知・技	乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(5、2、3、4の段)
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
		学び	乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
		知・技	2の段から5の段までの九九が確実にできる。
11. かけ算九九づくり	18	知・技	乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(6、7、8、9、1の段)
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
		学び	乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
		思・判・表	九九ジグソーパズルの解決のしかたを、九九表における答えの並び方に着目して考えている。
12. 長いものの長さ	6	知・技	長さの単位「m」について知り、単位の間接関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。
		思・判・表	身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
数をあらわそう	1	思・判・表	1つの数を多面的に捉え、ほかの数の和や差、積とみて式で表したり、図や絵で表したりしている。
13. 九九の表	7	知・技	乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
		学び	乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
14. はこの形	6	知・技	長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができ
		思・判・表	図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりのものの形を図形として捉えている。
		学び	箱の形に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
15. 1000より大きい数	8	知・技	4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。
		思・判・表	数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。
		学び	数を表すことに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
数のめいろ	1	思・判・表	決められた和になる数の選び方を筋道を立てて考えている。
16. 図をつかって考えよう	6	知・技	加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場面を図や式に表すことができる。
		思・判・表	逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考えている。
		学び	問題場面を図に表すことに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
17. 1を分けて	7	知・技	$\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ など簡単な分数について知っている。
		思・判・表	もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。
		学び	分数に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
お楽しみ会で算数	1	知・技	日常の場面から算数の問題を見だし、文章題を解いたり問題を作ったりすることができる。
算数をつかって考えよう	1	思・判・表	日常の場面から算数の問題を見だし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
2年のまとめ	5	知・技	第2学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	3	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
みんなで算数をはじめよう		2	知・技	問題解決の進め方を理解している。
			思・判・表	答えが同じになる式のきまりについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
1. かけ算のきまり	9	知・技	乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。	
		思・判・表	数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	
		学び	乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
2. 時こくと時間	6	知・技	日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。また、時間の単位「秒」について知り、1分＝60秒の関係を理解している。	
		思・判・表	時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。	
		学び	時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
3. たし算とひき算	14	知・技	3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。	
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	
		学び	加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
4. わり算	11	知・技	除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。	
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	
		学び	除法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
1/2に分けよう		1	知・技	方眼のます目の個数に着目し、1/2の大きさのいろいろな表し方を考えている。
5. 長さ	5	知・技	長さの単位「km」について知り、単位の関係を理解し、長さについておよその見当をつけ計器を適切に選んで測定することができる。	
		思・判・表	測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。	
		学び	長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
6. 表とぼうグラフ	9	知・技	棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。	
		思・判・表	データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。	
		学び	データを分析することに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
		知・技	あまりのある除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にでき	

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

7. あまりのあるわり算	9	思・判・表	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
		学び	除法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
なみ木道	2	知・技	木の本数と間の数の関係の問題(植木算)を、図や式などを用いて筋道を立てて考えている。
8. 10000より大きい数	8	知・技	万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、表すことができる。
		思・判・表	数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。
9. 円と球	10	学び	数を表すことに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
		知・技	円とその中心、半径、直径について理解し、円を作図したり長さを写し取ったりする道具としてコンパスを用いることができる。また、円に関連して、球についても理解している。
		思・判・表	円の中心、半径、直径に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を円や球として捉えている。
かけ算とわり算の図	2	学び	円や球に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
		知・技	乗法、除法の数直線のかき方を理解し、問題場面を数直線に表すことができる。
10. かけ算の筆算	11	思・判・表	乗法と除法の相互関係をもとに、数直線の見方やかき方を考えている。
		知・技	2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
		学び	乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
11. 重さ	9	知・技	重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味と単位の間接関係を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。
		思・判・表	身のまわりのものの特徴に着目し、単位の間接関係を統合的に考察している。
12. 分数	11	学び	重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
		知・技	等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数の意味と表し方、及び分数は単位分数のいくつ分で表せることを理解するとともに、簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり計算したりすることができる。
		思・判・表	数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。
		学び	分数に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
		知・技	二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などをとおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

13. 三角形	10	思・判・表	図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を図形として捉えている。
		学び	二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
14. 口を使った式と図	5	知・技	数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を口として式に表したり、口に数をあてはめて調べたりすることができる。
		思・判・表	数量の關係に着目し、数量の關係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりし
		学び	数量の關係を表す式に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
タイルは何まい	1	知・技	規則的に並んだタイルの枚数を工夫して数えることをとおして、図形、数、式の多様な見方を見いだしてい
15. 小数	12	知・技	端数部分の大きさを表す数としての小数の意味と表し方を理解するとともに、小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。
		思・判・表	数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。
		学び	小数に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
まほうじん	1	知・技	提示された条件をもとに、空欄にあてはまる数値の求め方を、式を用いて筋道を立てて考えている。
16. 2けたの数のかけ算	11	知・技	2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。
		思・判・表	数量の關係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
		学び	乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
ドッジボールのコートをかこう	1	知・技	図形の定義や性質、作図のしかたを、日常生活の問題解決に生かしている。
17. 倍の計算	3	知・技	ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解している。
		思・判・表	ある数量ともう一方の数量との關係に着目し、図や式などを用いて、既習の乗法や除法と関連づけながら演算の意味を考察している。
		学び	倍の計算に進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
18. そろばん	3	知・技	そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。
		思・判・表	そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。
		学び	そろばんに進んで関わり、数学的に表現処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
カレンダーを調べよう	1	知・技	規則的に並んだ数のきまりを筋道を立てて考えている。
算数を使って考えよう	2	知・技	表やグラフを用いて表されたデータをよみ取ったり、その根拠についてデータをもとに説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
3年のまとめ	6	知・技	第3学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	4	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
みんなで算数をはじめよう		2	知・技	問題解決の進め方を理解している。
			思・判・表	正方形を5個つなげた形のいろいろな場合について、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
1. 大きな数		10	知・技	億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。
			思・判・表	数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。
			学び	整数の表し方について、数学的に表現処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
2. わり算の筆算		10	知・技	除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数＝除数×商＋あまりの関係について理解している。
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
			学び	整数の除法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
3. 折れ線グラフ		9	知・技	折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。
			思・判・表	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。
			学び	データの収集とその分析について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
油分け		1	知・技	7dLや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を、筋道を立てて考えている。
4. 角		9	知・技	角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「度(°)」について理解し、角の大きさを測定することができる。
			思・判・表	図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。
			学び	角の大きさについて、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
5. 2けたの数のわり算		14	知・技	除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。
			学び	整数の除法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
			知・技	概数が用いられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四則計算の結果の見積もりをしったりすることができる。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

6. がい数	10	思・判・表	日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。
		学び	概数について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
こわれた電たく	1	知・技	18×25と答えが同じになる式を、乗法に関して成り立つ性質を用いて考えている。
7. 垂直、平行と四角形	15	知・技	直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。
		思・判・表	図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。
		学び	台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたり
8. 式と計算	7	知・技	四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を○、△などを用いて式に表したり、数をあてはめて調べたりすることができる。
		思・判・表	問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。また、計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。
		学び	数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
9. 面積	12	知・技	面積の単位「cm ² 、m ² 、km ² 、a、ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。
		思・判・表	面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。
		学び	長方形や正方形の面積について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしてい
つないだ輪を切って	1	知・技	つないだ輪を切ってできる形について、正方形ができた場合をもとに、条件を変えたときにどのような形ができるかを図形の性質に着目して考えている。
10. 整理のしかた	6	知・技	データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。
		思・判・表	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。
		学び	データの収集とその分析について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしてい
11. くらべ方	5	知・技	整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。また、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。
		思・判・表	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察している。
		学び	ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

12. 小数のしくみとたし算、ひき算	13	知・技	小数が整数と同じしくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。
		思・判・表	数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。
		学び	小数とその計算について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
13. 変わり方	5	知・技	変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。
		思・判・表	伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。
		学び	伴って変わる2つの数量について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
14. そろばん	2	知・技	そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。
		思・判・表	そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考えている。
		学び	そろばんについて、数学的に表現処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしていたりしている。
方眼で九九を考えよう	1	知・技	分配法則が成り立つことや九九の総和の求め方を、方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて考える。
15. 小数と整数のかけ算、わり算	16	知・技	小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。
		思・判・表	数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。
		学び	小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
16. 立体	10	知・技	直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を作図することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。
		思・判・表	図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。
		学び	直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
17. 分数の大きさとたし算、ひき算	11	知・技	簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。
		思・判・表	数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。
		学び	分数とその加法及び減法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

部屋分けパズル	1	知・技	1つの数をほかの数の積とみて分解して面積公式を適用するなど、部屋分けパズルの解決のしかたを筋道を立てて考えている。
算数を使って考えよう	2	知・技	表やグラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
		思・判・表	日常の場面から算数の問題を見だし、面積などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
4年のまとめ	2	知・技	第4学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	5	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
みんなで算数をはじめよう		2	知・技	問題解決の進め方を理解している。
			思・判・表	形も面積も同じ(合同)になるように2等分するしかたについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
1. 整数と小数		3	知・技	整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。
			思・判・表	整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。
			学び	整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
2. 体積		12	知・技	体積の単位「 cm^3 、 m^3 」と測定の意味、単位の関係について理解し、直方体及び立方体の体積を公式を用いて求めることができる。
			思・判・表	体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。
			学び	直方体や立方体の体積について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3. 2つの量の変わり方		6	知・技	簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めて
			思・判・表	伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。
			学び	伴って変わる2つの数量について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2000 cm^3 を作ろう		1	知・技	体積についての感覚をもち、2000 cm^3 の立体の大きさについて、およその見当をつけることができる。
			思・判・表	2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考えている。
4. 小数のかけ算		11	知・技	乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。
			思・判・表	乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。
			学び	小数の乗法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
5. 合同と三角形、四角形		14	知・技	図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が 180° になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分けられ求められることを理解している。
			思・判・表	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。
			学び	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			知・技	除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

6. 小数のわり算	14	思・判・表	除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。
		学び	小数の除法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
ご石の数え方	1	思・判・表	図や式から思考の筋道を考察し、図をよみ取って式に、式をよみ取って図に表現している。
7. 整数の見方	12	知・技	整数は観点を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることが
		思・判・表	乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別するしかたを考えたり、数の構成について考察したりしているとともに、日常生活に生かしている。
		学び	整数の性質や整数の構成を調べることにについて、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
8. 分数の大きさとたし算、ひき算	9	知・技	分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさを表すことや、分数の相等及び大小について理解し、大小を比べることができる。また、異分母の分数の加法及び減法の計算ができ
		思・判・表	数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。また、分数の意味や表現に着目し、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。
		学び	分数の意味と表し方、異分母の分数の加法及び減法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
9. 平均	7	知・技	いくつかの数量を同じ大きさの数量にならすことで妥当な数値が得られる場合は、測定値を平均するとよいことを理解し、平均を求めることができる。
		思・判・表	概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。
		学び	平均について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
奇数と偶数に分けて	1	思・判・表	偶数と奇数の性質に着目し、きまりを見つけて効率よく問題を解決するしかたを考え、式や図などを用いて表現したりよみ取ったりしている。
10. 単位量あたりの大きさ	13	知・技	速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。
		思・判・表	異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。
		学び	異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
11. わり算と分数	6	知・技	整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。
		思・判・表	分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。
		学び	分数について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

九九の表を調べよう	1	思・判・表	九九表を調べてきまりを見つけ、そのきまりがほかの場合でも成り立つかを考えている。
12. 割合	13	知・技	ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。
		思・判・表	日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の關係と別の2つの数量の關係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。
		学び	割合について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
13. 割合とグラフ	8	知・技	円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。
		思・判・表	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。
		学び	データの収集とその分析について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
四角形の関係を調べよう	1	知・技	基本的な四角形について、共通する性質を理解している。
		思・判・表	四角形の共通する性質に着目して、既習の図形を捉え直している。
14. 四角形や三角形の面積	16	知・技	平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。
		学び	四角形や三角形の面積について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
15. 正多角形と縁	12	知・技	円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素及び図形間の關係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。
		学び	正多角形と円について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
16. 角柱と円柱	7	知・技	角柱や円柱について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。
		学び	角柱や円柱について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
三角形に変身	1	思・判・表	三角形の底辺と高さの關係をもとに、面積を変えずに四角形を三角形に変形できる理由を考えている。
算数を使って考えよう	2	思・判・表	グラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
5年のまとめ	2	知・技	第5学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	6	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
みんなで算数をはじめよう		2	知・技	問題系活の進め方を理解している。
			思・判・表	パスカルの三角形のきまりについて多面的に捉え、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
1. 文字を使った式		8	知・技	数量を表す言葉や□、○、△などの記号の代わりに、x、a、bなどの文字を用いて式に表したり、文字に数をあてはめて調べたりすることができる。
			思・判・表	問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。
			学び	文字を用いた式について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2. 分数と整数のかけ算、わり算		8	知・技	分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。
			思・判・表	分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算のしかたを多面的に捉え考えている。
			学び	分数×整数の乗法、分数÷整数の除法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3. 対称な図形		13	知・技	対称な図形について理解し、線対称な図形や点対称な図形を作図することができる。
			思・判・表	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。
			学び	対称な図形について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
対称なデザイン		1	思・判・表	身のまわりから対称な図形を見つけ、対称な図形の美しさや機能性などについて考えている。
4. 分数のかけ算		13	知・技	乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、分数の乗法の計算ができる。また、分数の乗法に
			思・判・表	分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、乗数が分数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたり
			学び	分数の乗法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
5. 分数のわり算		14	知・技	除数が分数である場合の除法の意味について理解し、分数の除法の計算ができる。また、分数の除法に
			思・判・表	分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、除数が分数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたり
			学び	分数の除法について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
切り紙遊び		1	思・判・表	図形の対称性に着目し、切り紙遊びの活動でできる形について考えたり表現したりしている。
6. データの見方		13	知・技	代表値の意味や求め方、度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。また、目
			思・判・表	的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断しているとともに、その妥当性について批判的に考察している。
			学び	データを収集したり分析したりすることについて、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

7. 円の面積	11	知・技	円の面積の計算による求め方について理解している。
		思・判・表	図形を構成する要素などに着目し、円の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。
		学び	円の面積について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
ピザの面積を比べよう	2	思・判・表	1つの大きな円の面積と、複数の小さな円の面積が等しくなるとき、その理由について、式に着目して筋道
8. 比例と反比例	14	知・技	比例の関係の意味や性質を理解している。また、比例の関係をういた問題解決の方法や、反比例の関係
		思・判・表	伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだしているとともに、それらを日常生活に生かしている。
		学び	伴って変わる2つの数量について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしてい
9. 角柱と円柱の体積	8	知・技	角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解し、それらの体積を公式を用いて求めることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素に着目し、角柱及び円柱の体積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。
		学び	角柱及び円柱の体積について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしてい
10. 比	11	知・技	比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。
		思・判・表	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。
		学び	比について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
うさぎとかめ	1	思・判・表	時間と道のりの関係を表したグラフをよみ取り、かけっこの勝ち負けについて考え判断している。
11. 拡大図と縮図	13	知・技	拡大図や縮図について理解し、それらの図形を作図することができる。
		思・判・表	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、日常生活に生かしている。
		学び	拡大図や縮図について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
およその面積と体積	2	知・技	身のまわりにある形の概形を捉えて、およその面積を求めることができる。
		思・判・表	身のまわりにある形のおよその面積や体積を求める場合に、概形を捉えて測定しやすい図形とみたり、測定しやすい図形に分割したりすることを考えている。
地上絵をかこう	2	思・判・表	拡大図のかき方を日常生活の問題解決に生かしている。
12. 並べ方と組み合わせ方	9	知・技	起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知っている。
		思・判・表	事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。
		学び	起こり得る場合について、数学的に表現処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
算数を使って考えよう	2	思・判・表	ドットプロットを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論の妥当性について批判的に考察したり
		思・判・表	日常の場面から算数の問題を見だし、目的に応じて言葉や式などを用いて解決のしかたを説明するなど、算数の学習を活用して考え表現している。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

6年のまとめ	4	知・技	第6学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。
算数をふり返ろう	23	知・技	小学校の算数の学習内容について、知識及び技能を身につけている。